

山口大学 応用リモートセンシング研究センター 公開シンポジウム

「宇宙・地理空間情報・ビッグデータ・IoT」による 地方創生の新たなモデル

日時 平成29年7月1日(土) 13:00~15:00

場所 COCOLAND 山口・宇部
(山口県宇部市上宇部75)

「宇宙・地理空間情報・ビッグデータ・IoT」等によって実現する第4次産業革命では、もはや大企業や大きな組織体ではなく、個々からなるプロジェクトチームによって、大規模にスケールアップする新たなサービスが生まれる。ITと宇宙技術によって、高精度測位やリモートセンシング等の空間情報がより詳細かつリアルタイムになる中、地方のグループによる人材育成やアプリ・ソリューション開発がそのまま世界展開できる時代へと突入している。その中で、山口県から何を発信できるのか？

「宇宙・地理空間情報・ビッグデータ・IoT」等によって、社会課題の解決に結びつけるソリューションは、地方でプロトタイピングするメリットがある。こういったダイナミックな展開の中で、山口県が地方創生、働き方改革の新たなモデルを打ち出すにはどうしたら良いか？本シンポジウムでは、上記のテーマについてその道の第一人者を迎え、ご講演いただきます。

－ スケジュール －

- 1.開会挨拶 山口大学学長 岡 正朗
 - 2.基調講演【13:05~13:35】
 - ①**宇宙産業ビジョンと地方創生**
内閣府宇宙開発戦略推進事務局局長 高田修三氏
 - ②**日本の国土グランドデザインにおける宇宙政策と地方創生**
山口大学客員准教授 河村建一氏
 - 3.講演【13:35~14:50】
 - ①**ImPACTプログラム「オンデマンド即時観測が可能な小型合成開口レーダ衛星システム」とその出口に向けて**
慶應義塾大学教授 白坂成功氏
 - ②**超小型衛星がもたらす新しい宇宙利用の幕開け**
東京大学教授 中須賀真一氏
 - ③**宇宙インフラ×G空間 -宇宙と地上一体となった総合戦略-**
東京大学教授 柴崎亮介氏
 - 4.閉会挨拶 山口大学応用リモートセンシング研究センター センター長
三浦房紀
- (司会：山口大学応用リモートセンシング研究センター 副センター長 長井正彦)

内閣府宇宙開発戦略推進事務局局長 高田修三氏

1986年 通商産業省入省。経済産業政策局 産業再生課長、大臣官房審議官（製造産業局担当）等を経て、2016年6月から現職。宇宙開発戦略推進事務局では、宇宙開発利用に関する政策の企画及び立案並びに総合調整、準天頂衛星システムの開発・整備・運用等の施策の実施等を担当。

山口大学客員准教授 河村建一氏

2008年（平成20年）成立した超党派の議員立法「宇宙基本法」では立法スタッフとして条文作成と事務総括を担当。麻生内閣で内閣官房長官（宇宙開発戦略本部副本部長）秘書官として、我が国で初めての「宇宙基本計画」立案過程に係わる。現在は自由民主党宇宙・海洋開発特別委員長でもある衆議院議員河村建夫政策担当秘書、山口大学工学部客員准教授として山口大学応用リモートセンシング研究センターで戦略アドバイザーを兼任。

慶應義塾大学教授 白坂成功氏

三菱電機(株)にて宇宙開発に従事。技術試験衛星（ETS-VII）、宇宙ステーション補給機（HTV）等の開発に参加。特にHTVの開発では初期設計から初号機ミッション完了まで携わる。途中1年8ヶ月間、欧州の人工衛星開発メーカーに駐在し、欧州宇宙機関（ESA）向けの開発に参加。2004年度より慶應義塾大学で教鞭を執り、2011年度より現職。内閣府宇宙政策委員会 宇宙安全保障部会委員。

東京大学教授 中須賀真一氏

日本IBM東京基礎研究所、東京大学講師、助教授、アメリカ・メリーランド大学およびスタンフォード大学客員研究員を経て2004年より現職。超小型人工衛星の設計・製作・運用、宇宙システムの知能化・自律化、革新的宇宙システム、宇宙機の航法誘導制御等に関する研究・教育に従事。内閣府宇宙政策委員会委員。

東京大学教授 柴崎亮介氏

建設省土木研究所、東京大学助教授、同大学生産技術研究所助教授を経て、1998年より空間情報科学研究センター教授、2005年から2010年までセンター長。2008年から2010年までGIS 学会会長。実世界のデータ収集・計測技術、特に移動体の追跡データとモデルとの統合によるデータ同化技術、それらを利用した情報サービスの開発などの研究・開発に従事。内閣府宇宙政策委員会 宇宙民生利用部会委員。

交通アクセス



新幹線新山口駅から

- タクシーで約25分。
- JR「宇部線」又は宇部市営バス「白鳥号」にて宇部新川駅下車。宇部新川駅より、市営バス、開・萩原循環線（約25分）又はタクシー（約15分）に乗車

お車で

- 広島方面からは、山陽道、山口南ICを降り国道2号線を進行し、山口宇部道路を経て「超高温材料研究センター」方面へ右折。（標識あり）次の交差点を右折して2.1キロ右側です。
- 九州方面からは、中国自動車道 下関JCTにて山陽自動車道に入り、宇部IC（終点1つ手前）を降りる。宇部市内方面に進み「大小路」交差点を左折。（交番あり）左折して約1.8キロ左側です。

参加申込書

申込先：山口県産業技術センター 電子応用G 藤本

〆切り：6月29日(木) FAX 0836-53-5071 E-mail fujimoto@iti-yamaguchi.or.jp

企業名		TEL	
参加者	部 署 氏 名	部 署 氏 名	

※申込書に記入された個人情報、当該事業に関する情報提供の目的以外で利用することはありません。